



<http://www.mfj.or.jp>



全日本ロードレースを見に行こう!

ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP



2006全日本ロードレース選手権公式ガイドブック



残り3戦の熱い戦い!!



8/26.27 スポーツランドSUGO

10/14.15 岡山国際サーキット

11/4.5 鈴鹿サーキット

前半戦ハイライト

ハイポテンシャルのスーパースポーツマシン
国内最高峰の迫力がここにある!

2003年より国内最高峰クラスとなったJSB1000。ホンダ、ヤマハ、スズキ、カワサキと世界をリードする日本の4大メーカーが、リリースするハイポテンシャルの1000ccスーパースポーツバイクをベースに各コンストラクターがチューニングしたマシンで実力が拮抗している。シルエットは市販状態なので、より身近な存在に感じられるはずだ。国内のトップライダーが繰り広げるバトルに注目!



Round R-1 ツインリンクもてぎ

Twinring Motegi

開催日/予選:4月1日(土) 決勝:4月2日(日)
天候/予選:晴れ 決勝:曇り後雨
開催場所/栃木県・ツインリンクもてぎ(4.801Km)
観客数/予選:3,900人 決勝:8,300人



オープニングラップから秋吉耕佑がリード。渡辺篤が10周目に追いつき、チームメイト同士のトップ争いかと思われた13周目、雨でレースは中断となる。第2レースは、レインコンディションでスタート。トップを走る柳川は、一気にペースを上げ2番手以下を引き離していく。後方からは出口が激しい追い上げを見せ前を行く須貝と小西を立て続けにパスし2番手に浮上。柳川と出口の差は徐々に縮まっていくが、柳川が逃げ切りトップでゴール。波乱の開幕戦を柳川が制した。出口は2位で初表彰台を獲得。

Result	
1st	柳川 明
2nd	出口 修
3rd	渡辺 篤

Round R-2 鈴鹿サーキット

Suzuka Circuit

開催日/予選:4月15日(土) 決勝:4月16日(日)
天候/予選:雨 決勝:晴
開催場所/三重県・鈴鹿サーキット(5.821Km)
観客数/予選:13,000人 決勝:29,000人



鈴鹿2&4と称して4輪のレースと併催で行われた第二戦。2ラップ目に4台のマシンがクラッシュしたためレース中断。2度目のスタート、ホールショットの渡辺がレースをリード。一方後方では伊藤が激しく追い上げ、2周目に徳留、辻村、小西をかわして2番手に。伊藤の後方には秋吉がピタリとつけ、中盤はこの3台の争い。終盤、シケインの進入で渡辺はバックマーカーに引っかけた伊藤がリード。伊藤はラストスパートをかけ、渡辺を引き離してチェッカー。



Result	
1st	伊藤 真一
2nd	渡辺 篤
3rd	山口 辰也

Round R-3 筑波サーキット

Tsukuba Circuit

開催日/予選:5月13日(土) 決勝:5月14日(日)
天候/予選:雨 決勝:曇時々晴
開催場所/茨城県・筑波サーキット(2.070Km)
観客数/予選:2,300人 決勝:11,500人



秋吉がいいスタート、渡辺、山口も追い上げ、秋吉、山口のテールtoノーズの争い。17周目には秋吉を先頭に、山口、渡辺、伊藤の4台ふくれあがったトップグループ。終盤トップにたった渡辺。トップ争いは渡辺と背後にせまる伊藤の一騎打ちとなるが、バックマーカーをうまくかわした渡辺が、30週のレースを制し、ST600クラスとともにダブルウィンを飾った。



Result	
1st	渡辺 篤
2nd	伊藤 真一
3rd	山口 辰也

Round R-4 オートポリス

AutoPolis

開催日/予選:5月27日(土) 決勝:5月28日(日)
天候/予選:雨 決勝:曇時々雨
開催場所/大分県・オートポリスサーキット(4.674Km)
観客数/予選:4,900人 決勝:28,325人

ヨシムラの渡辺、秋吉が1-2体制でリード、後方からは伊藤。秋吉に伊藤が追いつき一騎打ちの様相を見せる。一方、スタートで遅れた柳川が渡辺と山口をかわして3番手に浮上すると、トップ争いを上回るペースで急速に接近。やがてトップグループは、秋吉、伊藤、柳川、の三つ巴の戦いとなる。伊藤が14周目にトップにたちリードを広げていく。柳川はラスト2周にやっと秋吉をかわすが伊藤には届かず、伊藤がシーズン2勝目、全日本歴代最多勝記録を更新する26勝目となった。



Result	
1st	伊藤 真一
2nd	柳川 明
3rd	秋吉 耕佑

JSB1000ライダー紹介



前半戦ハイライト

ハイレベルな戦い。
ラストラップまで続くトップ争い!

4ストローク4気筒は600cc、2気筒は750ccまで、改造範囲は狭く、一番市販状態に近いマシンで争われるクラス。ホンダ、ヤマハ、スズキ、カワサキが、それぞれ最新のスポーツモデルをラインナップしており、エントリーも多いことから激戦が繰り広げられている。また、ST600クラスのみ予選・ウォーミングアップラップ・決勝を通じて3セットとタイヤ本数制限が設けられており、予選からの戦い方も重要。今年もベテランから若手が入り交じりハイレベルな戦いになりそうだ。



Round R-1 ツインリンクもてぎ Twinring Motegi



ポールポジションからスタートした安田毅史がホールショットを奪い、酒井大作、高橋英倫、大崎誠之、宮崎敦、藤原儀彦。酒井は2番手に上がるとハイペースで安田を追い、トップ安田との差を詰めていったのだが、6周目の1コーナーで安田がまさかの転倒、これで酒井がトップを独走、2番手には大崎が上がり単独走行、3番手に上がったのは宮崎。トップを独走する酒井は慎重な走りでチェッカーを受け開幕戦を制した。

2位に大崎、3位に宮崎が入り、以下、渡辺、奥野、須貝、波多野、藤原、野田弘樹、辻村猛の順でチェッカーを受けた。

Result

- 1st 酒井 大作
- 2nd 大崎 誠之
- 3rd 宮崎 敦

Round R-3 筑波サーキット Tsukuba Circuit

安田毅史が好ダッシュ、ポールポジションの渡辺篤が2番手、以下、鶴田竜二、藤原儀彦、奥野正雄、高橋英倫、大崎誠之、渡辺が徐々差を縮めていき10周目には安田を捉える。後方では奥野、新垣の3番手争い。トップ安田と渡辺は26周目に渡辺が、27周目に安田が、それぞれ1コーナーでトップを奪う。そして、29周目の1コーナーで再び渡辺が安田をかわしてトップに立ち、最終ラップに突入。安田は最終コーナーに勝負をかけるがタイヤがスライドしてしまい、トップを守った渡辺がST600クラス初優勝。



Result

- 1st 渡辺 篤
- 2nd 安田 毅史
- 3rd 新垣 敏之



Round R-4 オートポリス AutoPolis



安田毅史がホールショットを奪うと、オープニングラップから2番手以下を引き離しにかかる。1周目が終わった時点で、安田は渡辺に1秒475もの差をつけていたが、渡辺と後方から辻村がペースを上げて追い上げ、4周めには渡辺が安田をかわしてトップに。また辻村も安田をかわして2番手。この3台のトップ争いからやがて渡辺がコースアウトしかけて後退。

辻村と安田の一騎打ちとなり、安田は、14周目に1コーナーへのブレーキングでトップを奪うと、そのままスパートをかける。

ファイナルラップになると雨が落ちてくるが、アクセルを緩めず全開の走行を続けた安田が、辻村を抑えきり、2004年の第6戦鈴鹿以来、約一年半ぶりにうれしい今シーズン初優勝を飾った。



Result

- 1st 安田 毅史
- 2nd 辻村 猛
- 3rd 渡辺 篤

ST600ライダー紹介



76 渡辺 篤

ヨシノリス WITH JOMO



9 大崎 誠之

SPS 野レーシングチーム



1 安田 毅史

TEAM HARC-PRO



8/26~27 第5戦
スーパーバイクレース in SUGO

スポーツランドSUGO

Sportsland SUGO Circuit

緑に囲まれた美しいサーキット。アップダウンが激しく、名物の10パーセント勾配からストレートにかけての勝負どころや、タイトなシケインなど独特の形状から繰り広げられるレースに注目!

●思い出

地方選手権時代の時などみんなでわいわい楽しかったのが良い思い出です。

●得意とする場所、見て欲しいコーナー

得意なのは3コーナー、見て欲しいのもそこです。ここは走っているほうも迫力があり攻めがいのあるコーナーです。

●レースが一番面白く見られる場所

最後の勝負が見れるシケインが面白いのではないのでしょうか。

●メッセージ

今年は、今のところは好調で3連勝してきてます。この調子で連勝も伸ばしたいですし今回は地元だし応援してくれる方も他のサーキットよりも来ると思いますので頑張ります。応援よろしくをお願いします。

Rider Profile

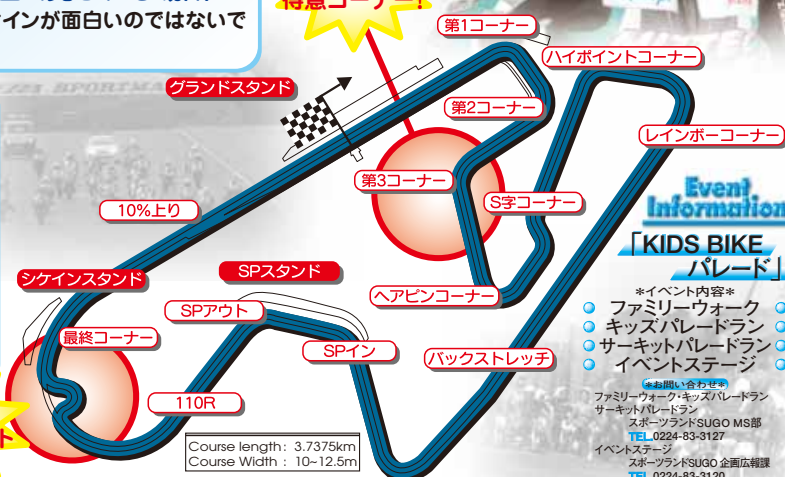
横江 竜司

Ryuji Yokoe

ゼッケン2
GP250参戦



横江 竜司の得意コーナー!



Event Information
「KIDS BIKE パレード」

- *イベント内容*
 - ファミリーウォーク
 - キッズパレードラン
 - サークキットパレードラン
 - イベントステージ
- *お問い合わせ先*
- ファミリーウォーク・キッズパレードラン
 - サークキットパレードラン
 - スポーツランドSUGO MS部
 - イベントステージ
- TEL.0224-83-3127
TEL.0224-83-3120

Course length: 3.7375km
Course Width: 10~12.5m

Race Ticket Guide

券種	金額
前売り観戦券(2日間有効)	3,200円
前売りベア観戦券(2日間有効)	5,800円
前売りグループ観戦券(2日間有効)	10,600円
バリューチケット(2日間有効)	19,000円
※バリューチケットのお求めはSUGOに直接お問い合わせください。	
前売券取り扱い ファミリーマート・サークルKサンクス・チケットぴあ・ローソン・CNプレイガイド JR東日本ゆづりプラザみどりの窓口(東日本地域以外一部お取り扱いしていません)	
当日観戦券 予選(大人)	1,500円
当日観戦券 予選(高校生)	300円
※中学生以下は無料	
当日観戦券 決勝(大人)	3,700円
当日観戦券 決勝(高校生)	1,800円
※中学生以下は無料	
女性入場料無料 土(予選)・日(決勝)	
パドックパス 予選	2,000円
※4歳~小学生半額	
パドックパス 決勝	3,000円
※4歳~小学生半額	
ピットウォーク 決勝	1,000円

Access map

- JR東北新幹線・東北本線とも仙台駅で下車。仙台駅西口バスターミナル8番ポストより、宮城交通バスがSUGOへ向かいます。朝8時45分が始発で仙台駅前発となっています。(料金は片道1000円)
- 東京方面からは、東北自動車道村田ICを降りてSUGOまで約10分。青森方面からは仙台南ICを降りてSUGOまで約20分です。
〒989-1394 宮城県柴田郡村田町学生6-1
TEL. 0224-83-3111

<http://www.sportsland-sugo.jp/>



10/14~15 第6戦
スーパーバイクレース in OKAYAMA

岡山国際サーキット

OKAYAMA International Circuit

関西のレースファンが多くつめかけ、熱気あふれるサーキット。長いバックストレートやダブルヘアピンでの攻防戦が間近で見られる。また駐車スペースからコースが近いのもポイント。

●思い出

全日本ロードレースで初優勝したのがこのコースです。

●得意とする場所、見て欲しいコーナー

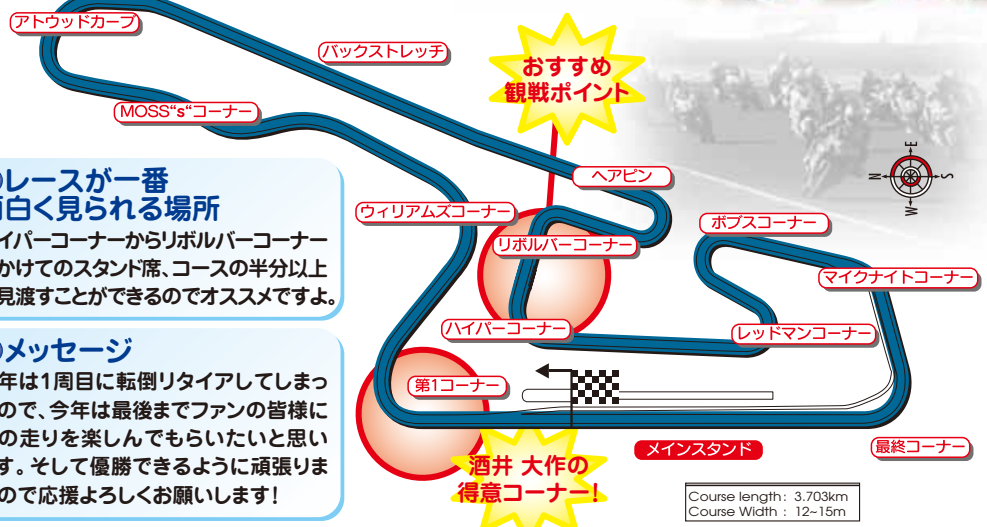
各コーナーの進入部分で、特にお客さんに見て欲しいのは1コーナーです。

Rider Profile

酒井 大作

Daisaku Sakai

ゼッケン39
ST600参戦



●レースが一番面白く見られる場所

ハイパーコーナーからリボルバーコーナーにかけてのスタンド席、コースの半分以上が見渡すことができるのでオススメです。

●メッセージ

昨年は1周目に転倒リタイアしてしまったので、今年は最後までファンの皆様に乗るの走りを楽しんでもらいたいと思います。そして優勝できるように頑張りますので応援よろしくをお願いします!

酒井 大作の得意コーナー!

Course length: 3.703km
Course Width: 12~15m

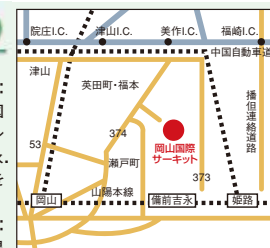
Race Ticket Guide

観戦券料金(中学生以下は無料)		大人・高
券種		
前売り観戦券(14・15土日通し)		3,000円
前売りベア観戦券/2名(14・15土日通し)		5,500円
前売りグループ観戦券/4名(14・15土日通し)		9,800円
15(日)決勝当日券		4,000円
14(土)予選当日券		2,000円
パドックパス、ピットウォークパス(小・中学生のバドックパスは半額となります)		
券種		大人・高
パドックパス/14・15土日通し(ピットウォーク可)		4,000円
観戦券別途必要		
パドックパス/15日決勝日(ピットウォーク可)		3,000円
観戦券別途必要		
パドックパス/14日予選日(ピットウォーク可)		2,000円
観戦券別途必要		
ピットウォークパス		1,500円
日曜のみ枚数限定発売、観戦券別途必要		

Access map

- 山陽自動車道備前ICご利用の場合: 備前ICを姫路方面へお入り国道2号線を東へ。1つめのトンネルを抜け道路標識案内「吉永、和氣」方面へ。4つ目の信号を右折。備前ICより約25km。
- 中国自動車道美作ICご利用の場合: 美作ICをお入り右折、「湯郷温泉」方面へ。国道374号線で湯郷温泉街を通過して、右側道路沿いに「岡山国際サーキット」の看板あり。続いて左手のパン屋「キムラヤ」手前を左折する。県道414号2つ目の信号を左折。あとは道なりに約10分。美作ICより約25km
〒701-2612 岡山県美作市滝宮1210
TEL. 0868-74-3311

<http://www.okayama-international-circuit.jp/>





11/4~5 最終戦 第38回 MFJ グランプリスーパーバイクレース in 鈴鹿

鈴鹿サーキット

International Racing Course SUZUKA Circuit

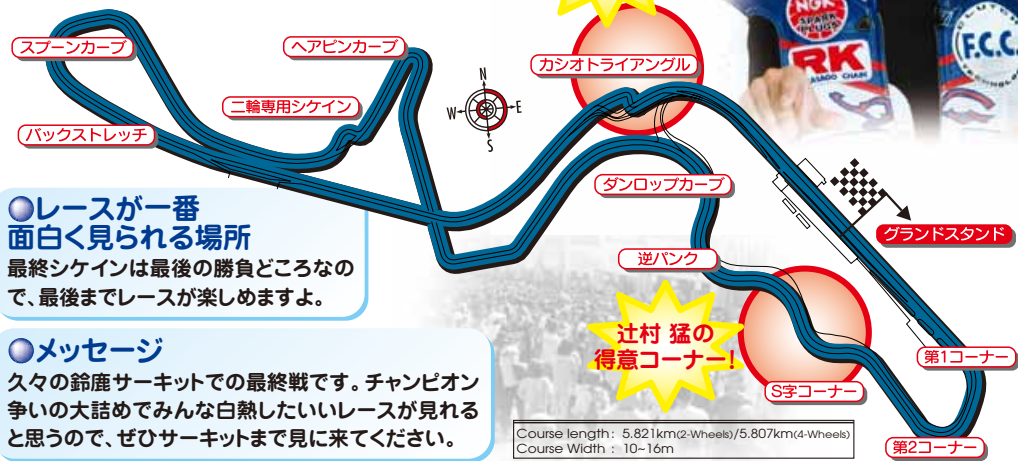
チャンピオン争いの最後の勝負は8耐も開催される鈴鹿で。今年は2000年以来のMFJグランプリとして開催され、様々なイベントが予定されている。新設のV席スタンドはファンなら要チェックだ。

思い出

子供のころから憧れのサーキットで、今年の鈴鹿8時間耐久での優勝はうれしかった!またチーム(TSR)も今年4耐でも優勝、自分も91年に優勝しています。転倒して病院に運ばれたことで妻と出会い、結婚式もここであげました。

得意とする場所、見て欲しいコーナー

東コースが得意ですね!特にS字のコーナーリングスピードをみてほしいです。



レースが一番面白く見られる場所

最終シケインは最後の勝負どころなので、最後までレースが楽しめますよ。

メッセージ

久々の鈴鹿サーキットでの最終戦です。チャンピオン争いの大詰めみんな白熱したいレースが見れると思うので、ぜひサーキットまで見に来てください。

Rider Profile

辻村 猛
Takeshi Tsujimura

ゼッケン3
ST600 JSB ダブル参戦



おすすめ観戦ポイント

辻村 猛の得意コーナー!

Course length: 5.821km(2-Wheels)/5.807km(4-Wheels)
Course Width: 10~16m

Access map



- 名古屋、京都、大阪より近鉄特急白子駅で下車。(タクシーにて約10分、またはバスにて15分)
- 東京・名古屋から東名阪自動車道「鈴鹿I.C.」において、案内看板にそって越して下さい。
- 大阪から西名阪自動車道「天理I.C.」を通過し、名阪国道「亀山I.C.」において国道1号線を名古屋方面に向かい案内看板にそって越して下さい。

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992
TEL. 059-378-1111

<http://www.suzukacircuit.jp>

Race Ticket Guide

前売観戦券料金 土日2日間有効	
券種	
大人	3,000円
ペアチケット	5,500円
中・高生	1,600円
※当日は、土曜 1,600円、日曜 3,500円	
前売指定席券料金 観戦券別途必要	
券種	
V席 ※当日は、2,500円	2,000円
パドックパス 観戦券別途必要、土日2日間有効、ピットウォーク可	
券種	
パドックパス ※小学生以下無料	3,000円
ピットウォーク	
券種	大人
ピットウォーク	1,200円

動画配信中!
前半のハイライトをもう一度チェックしてからレースを見に行こう!



レース最新情報、国内のモーターサイクルスポーツ情報はここからゲットしよう。



URL:<http://www.superbike.jp/>

MFJ SUPERBIKE
公式ホームページ



MFJ Online Magazineトップページのバナーから、BBMFJ専用ページにアクセス。



BBMFJとは、全日本ロードレースやモトクロス、トライアルのダイジェスト映像を、インターネットを通じてご覧いただけるMFJのブロードバンドサービスです。視聴するにはISDN以上の通信環境が必要です。通信料金以外に視聴費用は掛かりません。

URL:<http://www.mfj.or.jp/>

'GAORA' は今年もロックオン!

CSスポーツチャンネル'GAORA'(ロックオン2006)は今年もエキサイティングなレースシーンをみなさまにお届けします。全日本ロードレースのほか世界耐久選手権、全日本モトクロスや世界選手権もスーパーモタードなど、毎週月曜日、2時間枠での放送は見逃さない!ガオラの視聴に関してはお近くのケーブルテレビ局、またはガオラまで!

お問い合わせ
'GAORA'
TEL.0570-000-302
(受付時間/平日10:00~18:00)
TEL.06-6948-0066
HP:<http://www.gaora.co.jp/>

地上波もロックオン! 目が離せない30分!

「ロックオン2006」は白熱のレースシーンを地上波でも30分番組でお楽しみいただけます。関東6局(MXTV、テレビ神奈川、千葉テレビ、テレビ埼玉、群馬テレビ、とちぎテレビ)関西2局(SUNテレビ、KBS京都)、静岡朝日、三重テレビにて放送されます。

放映局名、詳しい放映スケジュールはSuperbike.jp
HP:<http://www.superbike.jp/> でチェック!

GAORA On the Air Schedule

OA	放送内容
8月14日 22:30 SM	3-000 / フォス
8月21日 22:30 WMX 6	フェコバ / 峠
8月28日 22:30 SM	オーストリア / 別荘
9月 4日 22:30 全日本R 5	SUGO
9月11日 22:30 EP	日本(8耐) / ドイツ
9月18日 22:30 MX	名阪
9月25日 22:30 WMX 7	アイルランド / オランダ
10月 9日 22:30 WMX 8	フランス / 伊予(ネーション)
10月16日 22:30 SM	ドイツ / 伊予
10月23日 22:30 全日本R 6	岡山国際
10月30日 22:30 MX	グリーンパーク
11月 6日 22:30 EP	フランス / 総集編
11月13日 18:00 全日本R 7	鈴鹿(最終戦)
11月20日 22:30 MX	10 SUGO(最終戦)
11月27日 22:30 SM	イリア / リンカ / アイルランド(ネーション)
12月 4日 22:30	全日本総集編

2006.8.4 現在。変更等はHPをご確認ください。



前半戦ハイライト

若手ライダーの台頭で大きく変わった勢力図

Moto GPに直結する125cc市販レーサーで争われるこのクラスでは、Moto GPアカデミーの受講生としてスペイン選手権にも参戦し、腕をあげている弱冠14歳の中上貴晶が、他を寄せ付けない速さで開幕から3連勝。15歳の富沢翔也、渡辺一馬も勢いに乗る。仲城、菊池らベテラン勢の後半の戦いにも注目だ。

Round R-1 ツインリンクもてぎ
Twinring Motegi



仲城英幸がすばらしいスタートダッシュを見せるが、オープニングラップで仲城をかわしたのは今回が全日本デビューの富沢祥也。しかし仲城もすぐにホームストレートで抜き返し、トップの座を奪い返す。3周目には中上貴晶が富沢をかわすと、仲城もかわしてトップに立ち、その勢いのままレースをリード、仲城、富沢が追う。9周目中上のミスをつき仲城が前に出るが、直後に中上が再びトップ。バトルはヒートアップし、仲城が中上をパス。さらに富沢も勝負をかけたトップを奪うが痛恨の転倒リタイア。トップ争いは仲城と中上の一騎打ちとなり、中上が仲城を抑えきってチェッカーを受け、全日本初優勝を飾った。

Result

1st	中上 貴晶
2nd	仲城 英幸
3rd	菊池 寛幸



Round R-4 オートポリス
AutoPolis

仲城英幸が好スタートをきり、菊池寛幸、中上貴晶、渡辺一馬、葛原稔永、山本武宏、徳留真紀とつづく。

中上は菊池をかわして2番手に上がると、仲城に迫っていき3周目のホームストレートで難なくパスしその差を広げていく。仲城はベースが上がらず後方集団に呑みこまれてしまう。かわって23番手グリッドからスタートした富沢祥也が激しい追い上げを見せ2番手争いに加わる。富沢と菊池、葛原が激しい2番手争い。トップの中上は安定した走りを見せ、独走のままチェッカー。見事開幕3連勝を飾った。2番手争いは、最終ラップに菊池をかわした富沢が制し2位でゴール。

Result

1st	中上 貴晶
2nd	富沢 祥也
3rd	菊池 寛幸



Round R-3 筑波サーキット
Tsukuba Circuit

15歳の富沢翔也がホールショットを奪い、葛原稔永、仲城英幸、中上貴晶、菅谷慎一、菊池寛幸。中上が3週目には仲城からトップを奪うと、圧倒的な速さで後続を引き離していく。トップを走る中上のペースはレース後半になっても衰えることなく、バックマーカーが絡みながらも59秒台をマーク、中上は独走でチェッカーを受け堂々の開幕2連勝。最終ラップには富沢が菊池を攻め立てるが、菊池はうまく抑えて2位にはいる。富沢は全日本参戦2戦目で3位と初表彰台を獲得!



Result

1st	中上 貴晶
2nd	菊池 寛幸
3rd	富沢 祥也

GP125ライダー紹介



73 中上 貴晶
Team HARC-PRO.



1 菊池 寛幸
BATTLE FACTORY



2 仲城 英幸
Jhaレーシング



48 富沢 祥也
FRS



32 渡辺 一馬
アンビシャスレーシングチーム

世界に直結している登竜門クラス タイトルは世界への切符!?

2ストローク250cc以下の市販レーサーによって争われているクラス。排気量は250ccながらも、そのエンジンは100馬力近いパワーを絞り出す。最低重量は100kgと軽量な車重もあり、ときには大排気量マシンをしのぐスピードを見せる。MotoGP世界選手権シリーズの250ccクラスとほぼ同じレギュレーションとなっており、世界に直系したクラスとも言える。ここ数年は、チャンピオンになったライダーは世界に旅立っており、世界への登竜門となっている。

Round R-1 ツインリンクもてぎ Twinring Motegi



高橋巧がホールショット、これを横江竜司がマークし、オープニングラップから2台が抜け出す。アベレージスピードで上回る

横江は、2周目に高橋巧をパストップに浮上すると、そのまま独走体制に。その後方では、高橋江紀を先頭にラタパー、宇井、秋谷が4位争いを展開。トップを走る横江は落ち着いた走り、5年ぶりの優勝を飾った。2位に高橋巧が入り、3位には宇井とのバトルに競り勝ったラタパー・ヴィライローが2度目の表彰台を獲得した。

Result	
1st	横江 竜司 RATTHAPARK WILAIROT
2nd	高橋 巧
3rd	

Round R-3 筑波サーキット Tsukuba Circuit

高橋江紀がホールショットを奪うが2周目横江がトップに。独走体制にはிரたい横江にくらいついたのはタイ人ライダーのラタパー。トップ争いはその後、何度か順位を入れ替えるものの横江が主導権を握り最終ラップを迎えた。息を呑むレースに、チェッカーを受けた両者の差は0.000秒と表示されたが、横江が僅かな差でラタパーを抑えて2連勝を飾った。



Result	
1st	横江 竜司 RATTHAPARK WILAIROT
2nd	
3rd	及川 誠人

Round R-4 オートポリス AutoPolis

Result	
1st	横江 竜司 RATTHAPARK WILAIROT
2nd	
3rd	高橋 巧



高橋巧がホールショット。横江竜司は慎重な走り、2番手につけ、及川、ラタパーとつづく。高橋巧はさらに横江を引き離していたが、追い上げてきた横江が5周目に高橋巧をかわしトップに立つと、自分のペースをキープしながら独走のままチェッカーを受け、開幕3連勝を達成。高橋巧をかわしたラタパーも2位でチェッカーを受け、3戦連続表彰台に上がった。

GP250ライダー紹介



RACING TEAM 森のくまさん
2 横江 竜司
HAI HONDA CASTROL ENDURANCE
7 RATTAPHAK WILAIROT
バーニングプラッド
72 高橋 巧

ローコスト・イコールコンディションの ロードレース入門クラス

「ローコストイコールコンディション」をコンセプトに1昨年よりスタートしたGP-MONOクラスは今シーズンから全日本格式に昇格。全日本でのポイントが与えられ、シリーズを通して戦う入門クラスの実践の場として注目されている。

記念すべき開幕第一戦は山下祐が制し、第二戦筑波では、8台ものトップ集団のなかから藤崎直之が飛び出して優勝、イコールコンディションならではのレースが展開された。第4戦オートポリスでもチェッカーまで続く集団でのトップ争いとなり、最終コーナーで森隆嘉が真っ先に立ち上がり優勝を飾った。



GP-MONO ポイント・ランキング

暫定順位: 第4戦オートポリス終了時

【国際ライセンス】

Pos	No.	Rider	Pts.
1	51	山下 祐	37
2	3	赤間 清	35
3	55	吉田 光弘	29

【国内ライセンス】

Pos	No.	Rider	Pts.
1	11	岡田 義治	34
2	15	古川 真一	26
3	7	斉藤 一輝	25

Point Ranking ポイント・ランキング

暫定順位: 第4戦オートポリス終了時

JSB 1000				ST 600				GP 250				GP 125			
Pos	No.	Rider	Pts.	Pos	No.	Rider	Pts.	Pos	No.	Rider	Pts.	Pos	No.	Rider	Pts.
1	1	伊藤 真一	63	1	76	渡辺 篤	48	1	2	横江 竜司	60	1	73	中上 貴晶	60
2	76	渡辺 篤	62	2	9	大崎 誠之	39	2	7	R.WILAIROT	49	2	1	菊池 寛幸	47
3	87	柳川 明	45	3	1	安田 毅史	37	3	72	高橋 巧	45	3	2	仲城 英幸	38
4	55	出口 修	44	4	5	寺本 幸司	26	4	41	宇井 陽一	34	4	48	富沢 祥也	32
5	2	山口 辰也	41	5	3	辻村 猛	23	5	4	及川 誠人	28	5	92	葛原 稔永	31
5	11	秋吉 耕佑	41	6	11	奥野 正雄	21	6	6	秋谷 守	18	5	5	竹内 吉弘	31
7	54	徳留 和樹	32	7	39	酒井 大作	20	6	55	高橋 江紀	18	7	32	渡辺 一馬	23
8	12	中須賀 克行	28	8	7	高橋 英倫	19	8	44	秋田 貴志	16	7	8	山田 亮太	23
9	13	須貝 義行	27	9	73	森 新	17	8	38	濱本 裕基	16	9	12	井上 誠	21
10	10	小西 良輝	25	10	-	須貝 義行	16	10	13	及川 玲	13	9	7	山本 武宏	21
11	5	辻村 猛	23	11	-	新垣 敏之	15	11	66	小林 龍太	11	11	14	岩田 裕臣	15

MFJロードレースアカデミー

MFJでは、ツインリンクもてぎを会場として、若者を対象としたロードレーススクール「MFJロードレースアカデミー」を開校しています。このスクールは、レースに必要なルールとマナーを学び、ライディングテクニックはもとより、フィジカルトレーニングやマシンメンテナンス等、レースに必要な総合的なトレーニングを学ぶ事が出来ます。このスクールは、学業に支障の少ない土日を利用して行っており、夏休みなどの長期の休みには、3泊4日の合宿も行ってあります。「MFJロードレースアカデミー」では、単に技術の向上だけでなく、モータースポーツを通じて社会性や自立心、向上心、規律、助け合いの精神など、心身の健全な発達を促す事を目的としています。ただ今受講生の皆さんは、ロードレース国内ライセンスを取得し、北ショートコースの実践走行や、ダートトラック走行、ストレッチ等を行い、地方選手権レースに出場出来る様頑張っています。当スクールに興味がお有りの方や、見学を希望される方、いつでも大歓迎です。どうぞお気軽にお越しください。



先生方が、ライディングテクニックを丁寧に指導してくれます



サーキットのルールとマナーをしっかりと学ぼう



メンテナンスもライダーの大事な仕事



先生の眼差しはいつも真剣です



ここからプロライダーが巣立つ日もそう遠くないはず！



基礎体力も、勝つための重要な要素



みんなの人技
待ってまーす！

【参加資格】

基本的にボケバイク、ミニバイク、モトクロス等、レース活動実績のある者を対象とし、実績のない方は技量審査を実施。

【受講料に含まれるもの】

- 車両貸与
- 車両メンテナンス
- 燃料代
- 受講者の宿泊代/食事代
- 保険料 (MFJ共済会掛金)

【お問い合わせ】

(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)
MFJアカデミー係
TEL:03-5565-0900

motogp日本グランプリ
in MOTEGI
チケット好評発売中!

詳しくは<http://www.twining.jp/>まで

JSBクラスシリーズチャンピオンには 文部科学大臣杯を授与

日本国内におけるスポーツの普及、振興を目的として全国規模で行われている競技に対して名義の使用許可のある「文部科学大臣杯」が、全日本ロードレース選手権でも2002年から文部科学省より授与されています。今シーズンもJSBクラスのシリーズチャンピオンに文部科学省より栄誉ある「文部科学大臣杯」が贈られます。MFJは1990年に文部省(現・文部科学省)所轄の財団法人となり、モーターサイクルスポーツの普及・発展を通じ、国民の健全な育成に寄与することを目的に活動しています。

受賞者

- 2002年 渡辺 篤
- 2003年 北川圭一
- 2004年 井筒仁康
- 2005年 伊藤真一



第1回「UAM Asia Road Race of Nations」日本チーム4位!

「UAM Asia Road Race of Nations」(アジア国別対抗戦)の記念すべき第1回大会が7月7日、タイのナコンチャイスリサーキットで開催され、菊池 寛幸選手、小室 旭選手、安達 聖也選手の3選手が日本代表チームとして出場しました。

タイ、中国、香港、マカオ、シンガポール、台湾、スリランカからライダーが集結、レースは2ヒート行われ日本勢は菊池 寛幸が第1ヒートで4位、第2ヒートも4番手を走行するも、最終ラップの最終コーナーでガス欠となってしまう、マシンを押し立て6位でチェッカー。小室 旭は16位/18位、安達 聖也は15位/19位。



国別に与えられたポイントにより、表彰台を独占したタイが初代チャンピオンに輝いた。インドネシア、フィリピンと続き、日本は4位と健闘しました。

レディースキッズパレード

メダルがもらえるよ!

昨年各サーキットでピットウォーク時のイベントとして開催されたレディース・キッズパレードは好評につき2006年度も各サーキットにて開催しています。レースのお昼休み時に自身のバイクでレーシングコースを走ることができます。この機会にあなたも参加してみませんか?



●問い合わせは各サーキット事務局またはMFJバイクパレード係まで。(募集人員に制限があります)